

ServiceNow
マイクロ資格 – Performance
Analytics
試験仕様書

はじめに

この ServiceNow Performance Analytics マイクロ資格試験仕様書は、試験の目的、対象者、テストオプション、試験内容と範囲、試験の枠組みに加えて、Performance Analytics マイクロ資格を得るために必要な前提条件を定めたものです。

試験の目的

Performance Analytics マイクロ資格試験は、Performance Analytics アプリケーションのセットアップ、構成、メンテナンスを実施するために必要なスキルと重要な知識を合格者が備えていることを証明するものです。

試験対象者

Performance Analytics マイクロ資格試験は、ServiceNow のお客様、パートナー、従業員を対象としています。

試験準備

試験の問題は、公式の ServiceNow トレーニング教材、ServiceNow ドキュメントサイト、ServiceNow 開発者サイトに基づいています。オンラインで公開されているその他の学習教材は公式ではなく、試験準備用としては推奨されません。

ServiceNow トレーニングパスの前提条件

Performance Analytics マイクロ資格試験の準備として、以下の前提トレーニングコースを完了する必要があります。以下の ServiceNow トレーニングコースで提供される情報には、試験のソース資料が含まれています。

- [Performance Analytics Fundamentals / Performance Analytics Fundamentals オンデマンド](#)または [Performance Analytics Essentials](#)

いずれかのトレーニングコースを完了すると、Performance Analytics マイクロ資格試験に登録することができます。

その他のリソース

上記に加えて、以下の追加リソースが試験準備に役立つ場合があります。

- [Performance Analytics and Reporting 製品ドキュメント](#)
- 『[Performance Analytics を使い始める](#)』 (コミュニティのログインが必要)

推奨されるその他の経験

- ServiceNow Performance Analytics 展開プロジェクトまたは ServiceNow インスタンスのメンテナンスに参加した 3 か月の現場経験
- 業界の用語、略語、頭文字語についての一般的な知識

試験範囲

次の表に、試験のトピックと割合を示します。

	学習分野	試験における割合 (%)
1	Performance Analytics アーキテクチャ	30 %
2	Performance Analytics の展開	20 %
3	Performance Analytics の測定基準と KPI	25 %
4	Performance Analytics のチャート化	25 %
	合計	100 %

試験登録

受験者は、Performance Analytics マイクロ資格の前提条件となっているトレーニングパスの完了後に、[Now Learning](#) から試験に登録する必要があります。試験は、シミュレートされた環境を使用して [Now Learning](#) から直接受験できます。

試験の構成

試験は 10 個のタスクで構成されています。受験者は、試験の各タスクについて、タスク内の割り当てられた作業を完了して検証する必要があります。

試験結果

各タスクは個別に採点され、合格するには 80% の成績が必要です。試験を完了して送信すると、すぐに合否結果が計算されて表示されます。受験者へのより詳しい結果の提供は行われません。

再受験

受験者は、マイクロ資格に合格するために必要な回数、アセスメントシミュレーターを再受験することができます。

タスク例

サンプルアイテム 1:

シナリオ:

会社の変更マネージャーは、主要な Change Management プロセスのパフォーマンスおよび健全性に関する詳細なプロセス傾向情報を求めています。

要件:

ServiceNow Performance Analytics 管理者は、以下を実行します。

1. 必要な Performance Analytics Change Management コンテンツパックプラグインを有効にする
2. Change Management の履歴データの収集を実行する
3. Change Management の日次データの収集を有効にする
4. データ収集ログを確認する

検証:

Change Management ダッシュボードにアクセスして、データ収集が正常に行われ、利害関係者が主要な Change Management プロセスインジケータを表示できることを検証します。

